

ごあいさつ



今年も東京集会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

昨年は、食品の偽装表示事件に明け暮れた一年でした。不二家の偽装にはじまり、ミートホープ、白い恋人、赤福、船場吉兆とマスコミは連日のように食品の偽装を暴き、報道しつづけました。

確かに、食品における「偽装表示」は消費者の信頼を裏切るもので許されるものではありません。しかし、「賞味期限」をめぐるマスコミの論調には行き過ぎの感があるのも事実です。賞味期限が一日でも過ぎたものは食べられないとする考えは、私たちがこれまで食べ物について語るときの「生産者への感謝の気持ち」とか、「もったいない」という気持ちとどこかで対立する気がするからです。世界には、食べ物がなくて深刻な飢えに苦しむ人々が8億5000万人もいます。食べ物に対する冷静な議論が必要な時期にきていると思います。

昨年は、米価が60kg12000円を下回るという事態が起きました。このままでは採算が合わないと米作りから撤退する農家が増えています。日本人の主食である米が、このままでは作っても作っても赤字という重大な危機に陥るのです。日本の第一次産業をどうするか、将来の食料問題をどう考えるか、政府の責任もさることながら消費者自身の責任も問われていると思います。

大地を守る会の会員数は、昨年も順調に伸びつづけ、昨年末で84000世帯を越えました。新しい仲間たちを迎え、大地を守る会は今年も有機農業運動の一層の発展のためにさまざまな運動を展開する所存です。「100万人のキャンドルナイト」、「フードマイレージ」、青森県六ヶ所村の再処理工場への反対運動、遺伝子組み換え食品反対などは今年も重大課題として取り組みます。皆さまのご協力を心からお願いします。

どうぞ、東京集会をお楽しみください。本日はご参加いただき、ありがとうございました。今年も、東京集会にお集まりいただきありがとうございました。

大地を守る会 会長 藤田和芳



大地を守る会の一年



大地を守る会は、自然環境に調和した、生命を大切にす社会をめざすという理念のもと、生産者と消費者そして株式会社大地など法人会員が、さまざまな運動や事業活動に取り組んでいます。2007年度は、これまでのさまざまな運動に加え、新たに「青森県六ヶ所村の再処理工場への反対運動」に取り組みました。三陸の海の汚染は日本の第一次産業全体の崩壊に直結するという危機感をもって、全国各地の生協や市民団体、食べ物を扱う産直団体、農家や食品メーカーに参加を呼びかけ、全国的な阻止ネットワーク運動を展開しています。集まった反対署名は80万筆に及びました。国際局の「DAFDAA基金」では、多くの会員のみなさんのご支援により、パレスチナのオリーブ栽培の農道づくり（大地の道）を実現することができました。有機農業推進法は、4月に具体的な推進方針が策定され

全国各都道府県でいよいよ推進計画づくりが始まっています。「全有協」は全国的な推進運動の強力なプラットフォームとなるべく、新たに「全国有機農業推進協議会」として再出発しNPO法人化をめざしています。相次ぐ食品偽装の嵐のなかで、大地を守る会は、農業生産者が報われ、環境の保全がすすみ、そして安全な食べ物を求める消費者の信頼にしっかり応えていくよう、全力を挙げて活動をすすめます。

専務理事 野田克己

株式会社 大地の一年



株式会社大地は、大地を守る会の「つくる人」と「食べる人」をつなぐ流通を担う大地を守る会の法人会員として、1977年に設立しました。

第31期にあたる今年度は、会員さんも順調に増え、またニーズに応えた商品開発、商品ラインナップにより売上も順調に伸ばすことができました。これも皆さんのおかげと心より感謝いたします。

07年10月より、老舗百貨店三越さんと業務提携しました。この業務提携は、大地を守る会が扱う商品の安心・安全、顔の見える関係が支える「確かさ」を信頼していただいたことによります。現在、「三越くらしの御用達便」として、三越の会員さんにも、生産者の皆さんが丹精こめてつくった食材や雑貨品をお届けしており、今後、利用者が増えることで、安心・安全なものをはぐくむ田んぼや畑を、さらに増やしていければと願っています。

11月には、西麻布に続き、山藤広尾店をオープンし、西麻布店と同様、好評を得ております。また、「ツチオーネ」で継続してお知らせしているように、カフェ「フードラボ ツチオーネ」の開店準備も進めています。山藤で楽しんでいただいている和食とはまた違うお料理で大地を守る会の食材のおいしさを味わっていただける日も近いかと思います。

31期の業績は、07年12月末現在、売上高昨対比108.43%の見込みになっています。これからも、有機農業運動・国産運動の裾野を広げ、いのちを大切にす社会をめざす大地を守る会の流通法人としての継続的な進化をめざします。

大地を守る会 法人理事 浅野井邦男